

IBM SOA World

SOA(Service Oriented Architecture: サービス指向アーキテクチャー)に関するさまざまな情報提供や啓蒙活動を行っている日本アイ・ビー・エム株式会社(以下、日本IBM)では、2006年6月7日(水)に青山ダイヤモンドホール(東京・港区)で「IBM SOA World」を開催いたしました。「イノベーションで変わろう、SOAで変えよう」というサブタイトルのもと、開幕基調講演および特別講演に続いて、午後からはビジネストラック、ソリューショントラック、アーキテクチャトラック、実装トラックの4分野に分かれ、総計16のセッションを実施。多数の参加者の皆様が、熱心に耳を傾ける姿が見られました。



実装段階に入ったSOA

本誌「マネジメント最前線」(10ページ)にも登場した、日本IBMの福井隆文による「SOAが加速するイノベーション」と題した基調講演で、開演しました。

冒頭に「今日は、SOAがどのようにビジネスに貢献するかについてお話ししたいと思います」と語った福井は、SOAが既に実装段階に入ったとの認識を示しながら、SOAの本質やメリットを明解に説いていきました。

「SOAはビジネスプロセスそのものの部品化であり、標準化のもとに部品化を進めるほど、活用度が高まります。そして、部品化されたビジネスプロセスは、再利用度が高まるほど効果が出ます。

こういった考え方自体は決して新しいものではありませんが、管理する仕組みが、体系化された方法論として確立され、それを実現するためのソフトウェアが整ったというのが現状です。

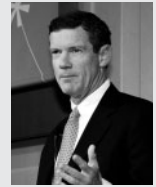
今後は、SOAの第2段階としてアセットの再利用がポイントです。SOAガバナンスによってサービスをきっちりと管理していくことが必要であり、これをIBMがご提供していきます」

お客様のイノベーションをお手伝い

引き続き、IBMコーポレーション ソフトウェアグループ ワールドワイド・ソフトウェア・セールス担当バイス・プレジデント マイク・ポーマンによる、「ビジネス中心でとらえるSOA」と題した基調講演が行われました。

かつて日本滞在の経験があるマイク・ポーマンは、日

夜世界中のCEO(最高経営責任者)とも話していますが、SOAに対する反応が1年前と比べて明らかに変わってきたのを実感しているとのことでした。



「1年前は、SOAとは何ですか? という質問が多かったのですが、昨今では、わが社はどこから、具体的にどうやってSOAを進めればいいのか、というお話が多いのです。SOA化を進めることは既に決定しており、実際に進める具体的な手助けをIBMに求めていらっしゃるわけです」

続いては、実際にSOAを始めるための五つのエントリーポイントについての説明でした。最後は、「IBMはSOAのトータルソリューションを提供できます。焦点を絞ったSOAプロジェクトで、お客様企業のイノベーションをサポートします」という力強い言葉で講演を締めくくりました。

IBM Innovation Summit

「IBM Innovation Summit」が、2006年11月1日(水)にセルリアンタワー東急ホテル(東京・渋谷区)にて「事例が語るビジネス改革『成功へのアプローチ～それはSOA』」をテーマに開催されます。「ビジネス改革のためのSOA化を、具体的にどのように始めればよいか」「SOA化を進めることによって、どのようなビジネス改革が可能になるのか」という疑問にお答えするために、SOA化に取り組んできたお客様に直接お話ししていただくセミナーです。

基調講演では、ヤンマー情報システムサービス株式会社 西邑定幸氏に「グローバルシステム構築におけるSOAへの取り組み」と題してお話いただきます。続いて午後からは3トラックに分かれ、合計11セッションでお客様のさまざまなSOAへの取り組みについてご紹介します。

お客様自らご紹介いただくセッションに加え、一部のセッションではお客様の取り組みをお手伝いさせていただいた日本IBMのエンジニアがお客様に代わってご説明いたします。

これらのお客様のSOAに関係したさまざまな取り組みやその評価、SOAをどこから始めていったかなどについて、直接具体的なお話をお聞きいただけます。今後、SOA化をご検討されているお客様にとりましても、お役に立てる内容をお伝えできることと思います。